福知山成美高等学校

ゴーヤ

美しい地域を守るために教室にゴーヤカーテンを！！

【ゴーヤカーテン育成】水分量や肥料が足りているか、伸びた蔓が上手く巻きついているか等の観察をし変化を見逃さないようにしました。【市役所との連携】ゴーヤカーテンの育成に必要な材料を寄付していただき、育て方も伝授していただきました。【貢献】できたゴーヤはふくちマルシェに置いて、売上金を8月の豪雨で被災された「はるまる農園」さんに寄付しています。

福知山成美高等学校

Para el future

持続可能なまちづくりを

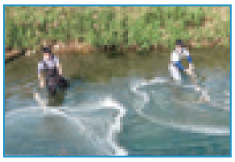
自校の食堂から出る生ごみなどを「コンポスト」を利用してたい肥化させる活動を行っています。【コンポスト】毎日、生ごみなどのたい肥の元を入れる・かき混ぜて酸素をいきわたらせます。【市役所との連携】たい肥化のさせ方を教えてもらい、資材などの提供をもらいました。【活動予定】食品ロスのことを発信していろんな人に伝える活動もしていきたいと考えています。

大阪府立富田林高等学校

魚類相班

石川の生物多様性を取り戻そう！～環境・魚類相の変遷と現状の分析～

活動の目的は、①過去と現在の石川の環境と生息する魚類(魚類相)を分析し、人間の活動がそれらの変遷に与えた影響を明らかにする。②現在の石川で生物多様性のホットスポットを発見し、存在理由を明らかにする。最終的な目標は、環境改善の目標を設定し、地域全体で取り組めるように発信して、石川を生物多様性に富んだ河川にすることです。



大阪府立豊中高等学校能勢分校

チーム SATOYAMA

能勢モデルを世界へ～課題を魅力に～

能勢の里山保全を目的に、「里山留学生」と能勢町育ちの生徒が伝統産業「菊炭」、能勢町発祥である「銀寄栗」に焦点をあて、先輩方の学びを継承し、地域住民、能勢町職員、卒業生、地域おこし協力隊の方々と共に活動を進めています。課題を魅力に変換していくこのプログラムを「能勢モデル」として広く発信し、次世代へ継承していくことをめざします。

大阪府立長尾高等学校

理科研究部　マイクロスケール実験開発チーム

マイクロスケール実験の開発

従来よりも少量かつ安価で実施可能なマイクロスケール実験は、使う薬品量が少なく、廃液や廃棄物も減らせる。成果は、開発作業そのものが我々の能力と未来への可能性を開発してくれると確信している。2021年2月､教科書の実験の1/6 スケール(20g消費が、わずか3.3gで済む)が有望となった。この秋に1/6スケールを実験で検証し、その妥当性を確認した。

大阪府立堺工科高等学校　定時制の課程

エコプロジェクト・チーム

美しい地球を次世代に～捨てればゴミ、活かせば資源～

地球温暖化防止のために環境のことを考え、「バイオディーゼル発電機」(不要な油を使って電気を作る)を製作した。「プラスチックゴミ」から油を作る「プラスチックゴミ油化装置」も製作した。「ペットボトル・キャップ」、「レジ袋」、「食品トレイ」などを油化装置に入れて油にし、「バイオディーゼル発電機」に入れると電気が出来る。素敵な活動である。

関西創価高等学校

会長とそのなかまたち

ゴーストギア

私達は、海洋プラスチックゴミ問題に目を向けその中でも大きな割合を占めているゴーストギアというものに注目してみました。今後は、ゴーストギアという問題により多くの人に関心を持っていただくために私達の意見を広げ、みんなで海洋ごみ問題を解決できるように取り組んでまいります。またこの活動を通して、一人一人の意識が地球を変えることも感じたので、まずは自分からより意識を高めていきます。

滝川中学校・高等学校

インターアクトクラブ

山・里・海で豊かな自然を育む

【山を守る】里山再生やブナの植樹活動を実施。ブナは水源涵養力が高く土砂災害などを防ぎ、生物多様性の源ともなる。【里を美しく】無農薬の合鴨農法にてお米を栽培。地域の生物多様性も維持。【海でワカメ漁業支援】2011年に石巻市で、2020年から神戸須磨でワカメ養殖の支援を継続。近年はヒーローショーでプレゼンを行い、啓発活動にも力を入れている。

兵庫県立篠山東雲高等学校

自然科学部

生き物観察会の取組　～ビオトープの活用～

学校の農場の一部に「ビオトープ」があります。このビオトープを活用して生き物観察会を行い、丹波地域の小学生約30人が参加しました。また、自然環境に配慮した農法でお米を栽培する農家を対象とした生物調査の研修会を行いました。この活動を通じて、丹波篠山市の田んぼの生き物の大切さを多くの人に伝え、普及する中心的な役割を果たしています。

兵庫県立神戸商業高等学校

県商　理科研究部×生徒会

神戸商業高等学校の海ごみ問題への取り組み

理科研究部は地元の海岸の清掃をしつつ、漂着ペットボトルを調査して海ごみの現状を明らかにし､研究発表会などで発表しました。生徒会は海岸清掃、エコキャップ運動、古紙回収を実施、生徒会新聞にはSDGs情報などを掲載して在校生の意識を高めました。また、海洋プラスチックごみでつくられたウミガメのオブジェと海ごみ問題をまとめたパネルを校内に展示しました。